



三重大学附属図書館における 情報リテラシー教育支援

平成15年9月19日
第19回大学図書館研究集会
事例報告・意見発表1



三重大学附属図書館参考調査係
木下 聡



本日の発表内容

👉 はじめに

- ◆ 情報リテラシー教育支援の定義とねらい

👉 情報リテラシー教育支援の実際

- ◆ 実施スタイル

- ◆ 実施内容 – 3つの側面から –

- 教育支援
- 研究支援
- 地域貢献

👉 情報リテラシー教育支援の意義と課題



はじめに

🔥 情報リテラシー教育支援とは？

- ◆ 教育 (Education) ではなく, 教育支援 (Instruction)
- ◆ 大学図書館 = 教育・研究を支援する機関

🔥 情報リテラシーによって大学を変えていく

- ◆ 教育のあり方を変える
- ◆ 研究活動を支える
- ◆ 地域貢献の柱となる



三重大学における
情報活用文化を育成



情報リテラシー教育支援の実施スタイル

🔸 三重大大学の規模

◆ 中規模の総合大学

- 人文・教育・医・工・生物資源の5学部

◆ 学生数: 約7,500名 (学部6,200、大学院1,300)

◆ 教官数: 約760名

🔸 実施体制(専任スタッフ)

◆ 情報サービス課参考調査係: 係長1、係員2

- 平成12年度以降、人員の配置換え、係の再編を実施



情報リテラシー教育支援の実施スタイル

🔥 2種類の実施スタイル

◆ 講義に関連する講習会

- 実施回数: 131回 参加者: 2,519名

◆ 図書館主催の講習会

- 実施回数: 88回 参加者: 394名

※いずれも平成14年度の実績.

詳細については, 別表を参照のこと

🔥 「講義に関連する講習会」を中心にして 「図書館主催の講習会」で補完



情報リテラシー教育支援の実施内容

- ▶ 目的に応じて3つのカテゴリーに分類
 - ◆ 教育支援
 - 教育を支援し、情報リテラシーの基盤を確立
 - ◆ 研究支援
 - 研究活動を支え、情報リテラシーの高度化をはかる
 - ◆ 地域貢献
 - 教育支援, 研究支援の成果を地域に還元



多様なメニューによる
対象の拡大 + 内容の高度化



教育支援としての情報リテラシー

🔥 目的

◆ 教育のあり方を変える

- 「情報を使う力」を前提にした授業
- 情報リテラシーの全体レベルの底上げ

🔥 実施内容

◆ 情報リテラシーの導入・基礎・実践

- 図書館ツアー
- 情報検索入門
- 情報検索講習会(卒研究生向け)



教育支援としての情報リテラシー

- ❖ 図書館ツアー = 導入
 - ◆ 新入生ガイダンス
 - ◆ 留学生ガイダンス
 - ◆ オリエンテーション・セミナー（オリセミ）
 - 学部導入教育
 - 人文学部（全クラス）と教育学部（一部）で実施
 - ◆ 内容：
 - 図書館のスペースやサービスを案内



教育支援としての情報リテラシー

🔥 情報検索入門 = 基礎

- 全学共通教育科目「情報科学基礎」の1コマ
 - ※学部学生のほぼ全員が受講

◆ 内容:

- 情報リテラシーについて
- OPACの概要説明と検索実習
- 文献・情報の探し方

🔥 情報検索講習会(卒研生向け) = 実践

- 雑誌論文の探し方



教育支援としての情報リテラシー

📌 学部初期段階情報リテラシー教育支援のモデルケース(人文学部の例)

| | Instruction(図書館) | Education(学部) | |
|------------------|---|--------------------------------|----------------------------------|
| ガイドラインの 目的・目標 | 情報リテラシー 教育支援講習会 | オリセミの カリキュラム | 情報科学基礎の カリキュラム |
| — | — | ・問題の発見・設定 | ・コンピュータの 基本操作 |
| 領域1: 印象づけ | ・館内ツアー 【オリセミ 45分】 | ・資料の収集 | — |
| 領域2: サービス案内 | | | — |
| 領域3: 情報探索法指導 | ・情報検索講習会 (実習付) OPAC, 文献探索 【情報科学基礎 90分】 | — | ・WWW検索 (インターネット) |
| 領域4: 情報整理法指導 | — | ・レジユメの作成 ・発表・討論 ・レポートの作成 | ・文書作成/表計算 ・電子メール ・ホームページ作成 |
| 領域5: 情報表現法指導 | — | | |



研究支援としての情報リテラシー

🔥 目的

◆ 研究活動を支える

- 内容の高度化と情報リテラシーの普及活動

🔥 実施内容

◆ 専門分野に特化した講習会・説明会

- オーダーメイド講習会
- 各種データベースの説明会・トライアル

◆ 情報リテラシー向上のための広報

- 「新しい情報サービスのための説明会」
- 「Digital Live」: ニュースレター



研究支援としての情報リテラシー

- ▶ オーダーメイド講習会
 - ◆ 電子ジャーナル
 - ◆ 引用文献データベース (Web of Science)
 - ◆ NACSIS-IR
 - ◆ 専門分野に特化した内容
- ▶ 「新しい情報サービスの説明会」
 - ◆ 電子ジャーナルとWeb of Scienceの概要と効果
 - ◆ 学術情報基盤確立の必要性
- ▶ 「Digital Live」
 - ◆ EJやデータベースの最新情報・利用統計



地域貢献としての情報リテラシー

🔸 目的

- ◆ 大学の地域貢献の柱となる

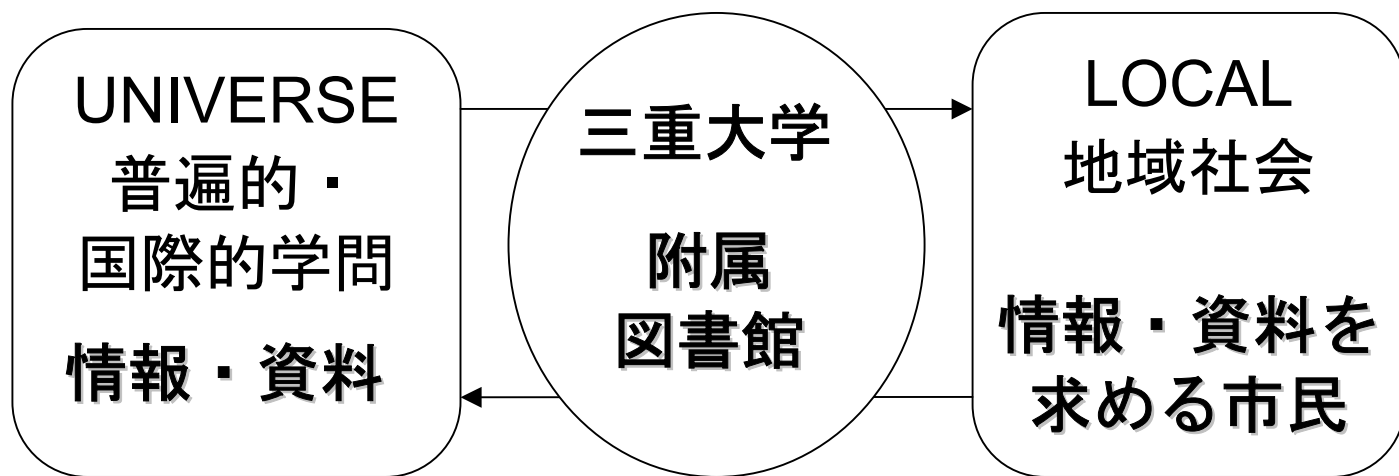
🔸 実施内容

- ◆ 外部に開かれた情報リテラシー教育支援
 - オープン・ライブラリー：一般市民
 - 「インターネットでレファレンス」：
県内の図書館職員
 - 「インターネットを活用した看護情報検索講習会」：
県内の看護師長級の職員



地域貢献としての情報リテラシー

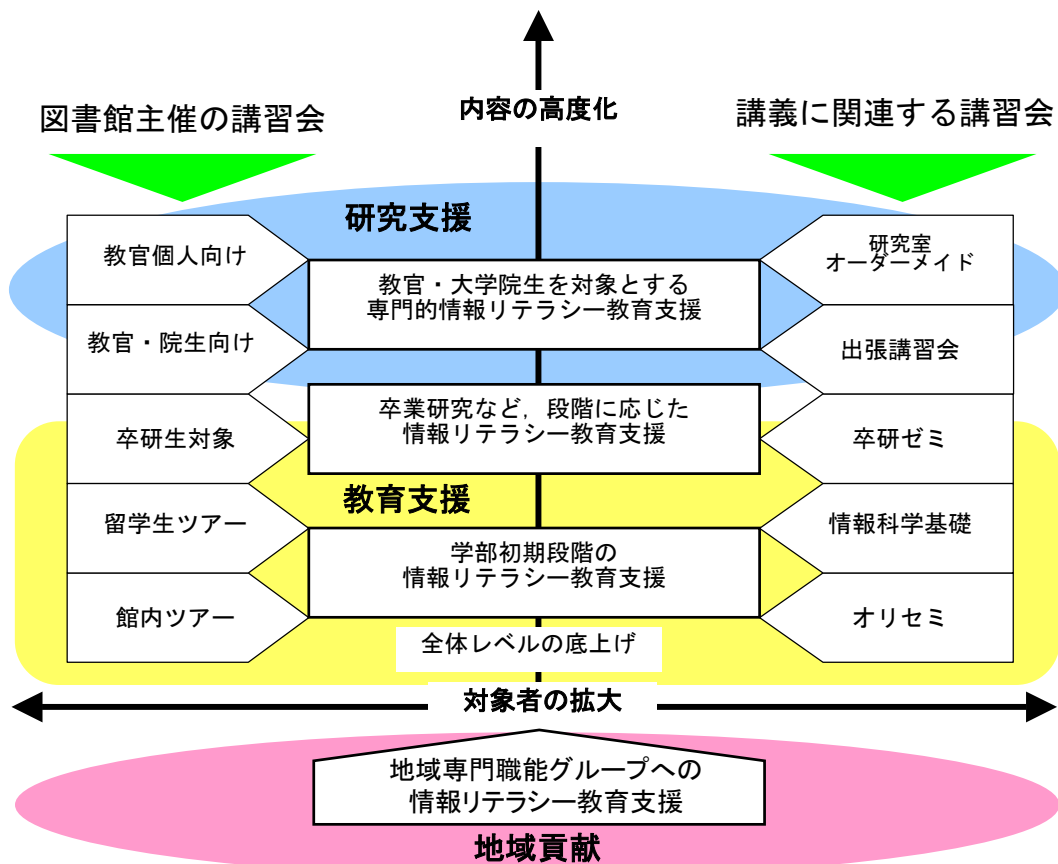
- ▶ 普遍的・国際的な領域と地域社会とをつなぐ



- ▶ 情報・資料に加えて, その活用法を伝える



情報リテラシー教育支援の全体像





情報リテラシー教育支援の意義と課題

🔴 Plan (企画) – Do (実行) – See (評価)



図書館の運営全般に関わる拡大再生産的なサイクル



情報リテラシー教育支援の意義と課題

📌 課題

◆ 意識改革

◆ レファレンスの充実

- 利用者の多様なニーズに対応
- 学術情報ポータル機能の整備

📌 情報リテラシー教育支援

= 大学図書館のコア・コンピタンス

- ◆ 情報活用文化の育成を通して、大学を変えていく



参考文献リスト

- ◆ 杉田いづみ, 河谷宗徳, 後藤美由紀「三重大学附属図書館の情報リテラシー教育支援」『情報の科学と技術』52(11), 2002.11, p.569-574.
- ◆ 土屋俊「大学改革の流れと大学図書館」『図書館雑誌』97(5), 2003.5, p.284-287.
- ◆ 日本図書館協会図書館利用教育委員会『図書館利用教育ハンドブック：大学図書館版』日本図書館協会, 2003.3.
- ◆ 「Digital Live」
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/archive/gakuto/dlindex.html>

平成14年度 情報リテラシー教育支援実績一覧

1. 講義に関連する講習会

| 種 類 | 回数 | 人数 |
|---------------------|-----|-------|
| 図書館ツアー（学部導入教育の一コマ） | 22 | 357 |
| 情報検索入門（情報科学基礎の一コマ） | 36 | 1,301 |
| 情報検索講習会（講義等の一コマ） | 19 | 320 |
| オーダーメイド講習会（研究室単位） | 53 | 466 |
| 大学図書館の情報管理（講義等の一コマ） | 1 | 75 |
| 小 計 | 131 | 2,519 |

※その他、Project Based Learning授業（工学部分素材工学科富岡教授）の支援として
レファレンスカウンターで情報検索指導を実施（6件、30名）

2. 図書館主催の講習会

| 種 類 | 回数 | 人数 |
|-----------------------|----|-----|
| 図書館ツアー（新入生ガイダンス） | 9 | 104 |
| 図書館ツアー（留学生ガイダンス） | 6 | 27 |
| 新任教官ガイダンス | 5 | 21 |
| 書庫利用ガイダンス（学部生向け） | 17 | 43 |
| 情報検索講習会（卒研生など個人向け） | 10 | 21 |
| オーダーメイド講習会（個人申込み） | 36 | 91 |
| WoS新サービス説明会（外部講師による） | 2 | 11 |
| SciFinder説明会（外部講師による） | 1 | 20 |
| EJ新サービス説明会（外部講師による） | 2 | 56 |
| 小 計 | 88 | 394 |

3. その他（地域貢献事業）

| 種 類 | 回数 | 人数 |
|--------------------|----|----|
| 看護情報検索講習会（県看護協会主催） | 1 | 26 |
| 小 計 | 1 | 26 |

| | Instruction(図書館) | Education(学部) | |
|-----------------|---|--------------------------------|----------------------------------|
| ガイドラインの目的・目標 | 情報リテラシー教育支援講習会 | オリセミのカリキュラム | 情報科学基礎のカリキュラム |
| — | — | ・問題の発見・設定 | ・コンピュータの基本操作 |
| 領域1: 印象づけ | ・館内ツアー 【オリセミ 45分】 | ・資料の収集 | — |
| 領域2: サービス案内 | | | — |
| 領域3: 情報探索法指導 | ・情報検索講習会(実習付) OPAC, 文献探索 【情報科学基礎 90分】 | — | ・WWW検索(インターネット) |
| 領域4: 情報整理法指導 | — | ・レジュメの作成 ・発表・討論 ・レポートの作成 | ・文書作成/表計算 ・電子メール ・ホームページ作成 |
| 領域5: 情報表現法指導 | — | | |

学部初期段階情報リテラシー教育支援のモデルケース（人文学部の例）

